



# おがたっ子



《めざす子ども像》  
**「元気に登校，笑顔で下校」**  
 おもいやる子 【敬愛】  
 がんばる子 【自立】  
 たのもしい子 【創造】

【緒方小・緒方中 共通教育目標】 未来に向かって 生きる力を備えた 緒方っ子の育成

10月版 文責：佐藤 公彦 TEL0974-42-3150 Fax0974-24-4020

## 「緒方を学ぶ・緒方に学ぶ」6年ジオ，4年かぼす

2学期が始まって早々に6年生が緒方町内のジオサイトなどを巡る現地学習会を行いました。

豊後大野市資料館の後藤 祥さんに案内・解説をお願いし、原尻橋上流の緒方上井路取水口や上年野区平瀬集落の水田風景、長谷緒井路烏嶽円形分水、滞迫峽を見学。緒方の田畑を潤す井路の仕組み、先人の知恵を学びました。滞迫峽では柱状節理を見ながら弁当を食べ、その後、火砕流で蒸し焼きになった炭化木が埋もれた洞窟探検も行いました。

緒方川と緒方盆地の農村景観が国の重要文化的景観に選定されたこととあわせて、普段目にしていない緒方の風景が、実は非常に価値のあるものなんだということに思いが至る時間になりました。

また、10月13日には4年生が小宛の後藤正彦さんを訪ねました。種なしかぼす「祖母の香」（ニューかぼす）が世に出るようになった経緯や他のかぼすとの違いの説明を受け、収穫を体験しました。重みで袋を持ちきれないほど収穫した子どもたちは大喜びでした。

大分はかぼすの収穫量が日本一で、なかでも豊後大野はその一大産地です。後藤さんが50年ほど前に発見し、様々な努力を重ねて広まった種なしかぼす。農林省（当時）に品種登録された40年ほど前には、NHKの「明るい農村」で後藤さんや種なしかぼすの紹介がありました。在来品種とあわせ、かぼすは緒方の自慢の1つです。

今後も、緒方にあるすばらしい「ひと・もの・こと」を学んでいきます。

## 1・2年いのちの授業

9月27日、おおいた動物愛護センターから職員3人と犬1頭を招いて、1・2年生が命の大切さを学ぶ授業が行われました。

子どもたちは、命を守るために犬の親子ががんばっていることや犬の子育てについて考えました。

動物愛護センターは人と動物が共生できる社会の実現をめざしています。

## 5年九重宿泊体験学習

10月5、6日に、朝地小5年生と合同で九重青少年の家宿泊体験学習が行われました。事前に交流活動を行い、当日も様々な活動と一緒に行いました。長者原のタテ原原散策、フィールドアスレチック体験、プラネタリウム、おにぎり山へのウォークラリーなどで秋を満喫。貴重な体験ができた2日間になりました。

